

第8回神戸マラソン ランナーエピソード (わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
山本 民夫	兵庫県	10年ほど前、海外や国内のマラソン大会を走り回っていた私に、「先生、ガンバレ！」などと、マジックで寄せ書きをしたTシャツを、生徒たちがプレゼントしてくれた。そのとき「このTシャツを着て、新しく開催が予定されている神戸マラソンをがんばって走ります」と、生徒と約束した。しかし、なかなかその約束が果たせない。当選しないのだ。仕方がないので他のマラソン大会に参加するが、地元の神戸マラソンは毎年でも走りたい。第1回大会が開催された時は63歳で、楽に4時間台で完走していた。65歳を過ぎてから急激に体力が落ち5時間台へ。70歳になった今年は6時間台に。完走できなくなる日が駆け足で近づいて来る。落選が続き、神戸を1回も走れないままその日が来るのではないかと、焦る。今年、8回目で初当選。間に合った。やっと生徒との約束が果たせる日がやってくる。プレゼントされた時は楽に完走できていたので、寄せ書きを読んでもあまり励みにはならなかった。いまは完走できるかどうかかわからない状態なので、寄せ書きのひとつひとつの言葉から勇気をもらおう。元気づけられる。生徒たちに感謝しながら、神戸マラソンを楽しく完走したい。
ポチ	東京都	神戸のお義父さんお義母さん、ボクが完走できたら奥さんとみんなで三田牛食べに行きましょうね(^o^)
ほりさん	大阪府	去年亡くなった職場仲間の名前を胸に神戸マラソンに参加させていただきます。 2015年・2016年と大阪マラソンに参加しましたがその時に私の職場はボランティアで参加しました。その時のリーダーが私のハンドルネームの方です。初出場となった2015年は「頑張ってるか?」「調子はどうですか?」と緊張気味の私を何度も励ましてくれました。ゴールの翌日私の完走を一番喜んでくれたのも彼でした。2016年もタイムは落ちましたが彼が私の参加を一番楽しみにしていました。筋肉質で元消防員の彼はマラソン完走の夢を私に託していたかもしれません。しかし2017年彼から「体調を崩して今年で退職となった…今年のマラソン、頑張ってるな…」これが彼から私への最期の言葉となり、数か月後彼の訃報が届きました。運良く参加できた第7回神戸マラソン、とても楽しく完走できましたが喜んでくれる彼はもういません。今年の第8回神戸マラソンは彼の名前をゼッケンに入れて彼と一緒に楽しく神戸マラソンを走りたいと思います!!そして天国にいる彼にも神戸マラソンの楽しさ・素晴らしさとフルマラソン完走の達成感を味わってもらいたいです!!
マラソン魔神	京都府	職場で同僚とマラソン大会へ出場することがブームで、走力の差からAチーム・Bチームに分かれており、私はBチームのリーダーとしてメンバーを鼓舞しています。私自身は今年目標としてフルマラソンの年間出場記録を10レース以上とすることを掲げているためBチームのメンバーからは「マラソン魔神」と崇められています。そんな、職場の同僚数名と一緒に神戸マラソンへ応募しましたが、なんと!2年連続落選していた私が初当選!その他の同僚O係長・Mさんが一緒に走れるので大会へ向けてとても盛り上がっています。しかし、これまで鹿児島マラソンを含む3大会と一緒に走った部下のBさんが無念の落選。サブ6を目指す彼とは今年一緒に仕事ができる最後の年なので思い出に神戸を走りたいねと会話をしていただけに彼と走れないことがとても残念でした。抽選大会の宿命かもしれませんが、無念の落選となったBさんはコース沿道等で応援してくれるとのことなので彼への熱い友情と感謝の気持ちを胸に抱きつつ初めての神戸マラソンを快走したいと思います。
西野 浩樹	兵庫県	以前淡路島で仕事をしていました。仕事に嫌気が差し始めたころに大阪への異動。が、仕事と独り暮らし、人間関係で精神的に参り、電車で飛び込めば楽になるとも感じ、怖くなり仕事を長期間に亘り休職。回復し復帰の話を会社から薦められ、島で仕事ができるならと承諾。が、復帰先は神戸市西区。場所も知らず、事業所規模も島の倍以上。病気の再発が怖かったので実家から通勤しました。4:30に起き、5:30に出発。約2時間で職場に着き、日中は体力仕事。19時に職場を出るような生活。「もう、無理。辞めてしまいたい」そんな言葉を職場の先輩に言い続けました。先輩は「一緒に頑張ろう」と優しく励まし、休憩中や仕事終わりも付き合ってくれました。今までこんなに優しくしてもらったことはなく、続けていく勇気も湧きました。今春、僕は垂水へ異動。その先輩とは離れてしまいましたが、神戸マラソンと一緒に走ってもらうようお願いし、当選しました。私は、このマラソンで先輩への感謝を伝えるとともに、先輩は初フルマラソンなので、大会まで練習などのサポートを僕が担い、共に完走できるよう頑張っています。改めて先輩、今までありがとうございました。
関 美佐子	兵庫	第1回に当選して以来ずっと落選続きで、地元ながらランナーとして参加出来ない大会でした。昨年、久しぶりに当選。走ることを応援してくれた母親がガンになり、遠征ランに行けないから、「マラソンの神様が当選させてくれた!」と思いました。その後、母親の病状は悪化して私が神戸マラソンを走る姿を見ることなく、11月1日に他界しました。疲れから体調も崩してしまい、当日スタートラインに立ったものの、「ちゃんと走れる?ゴールできる?」と不安いっぱいスタートしました。走っていると、見慣れた神戸の街、友人をはじめ沿道の人たちの声援で、笑顔でゴールすることが出来ました。20回以上フルマラソンを走った中で、昨年の神戸マラソンは思い出深いものになりました。縁があって、今年も神戸マラソンを走ることが出来ます。いつも支えてくれる人達に感謝して、空から見守ってくれる母親にも元気な姿を見せたいと思います。

第8回神戸マラソン ランナーエピソード
(わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
三浦 昭次	愛知県	<p>自分は愛知県豊田市に住んでいますが、神戸には母方の親戚が多いため、神戸は幼少の頃から縁深い場所です。そんなご縁もあったのでしょうか？6年前の第2回神戸マラソンでの参加ができませんでした。大会当日は、すばらしい天気にも恵まれて、無事に完走できた喜びとともに、大きなサプライズがありました。ゴール直後、自分の名前を呼ぶ大きな声が聞こえたので、そちらへ顔を上げてみると、叔父が手を大きく振っていたのです。わざわざ、駆けつけてくれたことが、とてもうれしかったです。</p> <p>ところが、その後、自分は、患っていた右足首の変形性足関節症が悪化して、のべ3回の手術を受けました。実は、2回目の手術後、叔父がガンで亡くなったことを聞き、もう一度、自分が神戸を走る姿を、天国から見てほしい気持ちが強くなりました。手術の影響で、4時間前後での完走は無理なのですが・・・亡くなった叔父に感謝しながら、ゴール地点での呼び声を思い出すため、6年ぶりの神戸を走ります。<追伸>沿道のみなさんにも福が訪れるよう、最近凝っているダルマの鎧・兜のコスプレで走ります！ご期待ください！</p>
ohho	大阪府	<p>今年で3年連続の出場です。昨年のお阪マラソン(2017/11/26)走行中に、異変が起こり脊椎圧迫骨折をしました。今年の春まで治療、リハビリに専念しておりました。還暦を過ぎましたが、まだまだ頑張ります。応援よろしくお願ひします。</p> <p>今年も、「20,000本のひまわりの花の1本となれる楽しみ」で、待ち遠しいです。最後に、こんな私のわがママを許してくれている、家内、子供、また、応援してくれている、友人、知人 の皆さん、ありがとうございます。選抜された事を誇りに、今年も駆け抜けていきます。ありがとう！神戸</p>
久山 廣	岡山県	<p>2012年夏、家内のガンが発見されました。2度手術をして今は定期健診を受ける状態です。約40年私についてきてくれました、これからは少しでも一緒に楽しめればと思い神戸マラソンに挑戦します。沿道のどこかで応援してくれているはず、何とか完走したいです。</p>
金森 淳	兵庫県	<p>今年の誕生日前日、大好きなカーブを応援する仲間と共にスポーツイベントに参加していました。そのイベントはカーブの元トレーナーの方から体幹トレーニングを学ぶものです。その中のイベントとして柔らかいボールを使用したソフトバレーボールをしたのですが、その時にアキレス腱を断裂してしまいました。これは完全に自分の準備不足が招いた結果なのですが、関係者の方や仲間たちに心配と迷惑を掛けてしまう結果になってしまいました。これを書いている翌日8/8に手術を行います。手術後3か月半ほどしか時間はありませんが、焦らずリハビリし、スタートLINEに立ち、歩いてでもいいから、やっとの思いで初当選したこの大会に参加したいと思ひます。大会スタッフの方々に迷惑はかけられないので、無理せず、リタイヤすることになってしまうと思ひますが、参加する事を励みに手術リハビリ頑張ります！そして仲間たちに笑顔で報告したいと思ひます！</p>
トラちゃん	大阪府	<p>一昨年に初めて神戸マラソンに参加させてもらいました。実力は完走できるか否か程度ですが、色々な大会に参加させてもらっています。神戸マラソンでは沿道の応援の情が厚く感じられます。大きな声で「ガンバレ」と声をかけてくれるし、沿道からの差し入れの菓子(飴やチョコレート)や果物などで、長丁場のマラソンのエネルギー補給をさせていただきます。感謝感謝でした。差し入れが無かったら完走できていなかったかもしれません。厚く熱い応援を期待して、眺めの良い神戸の街を完走したいと思ひます。</p>
トントン	兵庫県	<p>2016年の神戸マラソンを当時付き合っていた彼女と共に出場し、しおさい公園でプロポーズをしました。その後、無事に入籍し、今年10月に第一子も誕生予定です。きっと今年も神戸マラソンを走ると、当時サプライズプロポーズを手伝ってくれた友への感謝やいつも献身的に支えてくれる妻への感謝の思いで頑張れると思ひます。また、父として最初のフルマラソンになるので自己ベストとは言いませんが2時間40分は切ってシード権を得たいです。</p>

第8回神戸マラソン ランナーエピソード (わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
匿名	沖縄県	私は、初参加から3年連続走れる事になり、とても感謝しています。神戸に来るたびに、私の世話をしてくれる友人もエントリーし、彼も無事に当選！彼の初マラソンは神戸マラソンです！今年は彼と共にゴールを目指します！
タカハラケイスケ	兵庫県	マラソンとフィギュアスケートのテレビ観戦が大好きだった母の癌が発覚しました。休みのたびに母を誘って出かける。そんな生活が馴染んできた頃、友人と第1回の神戸マラソンに応募し当選しました。秋が終わる頃、母は入院し、意識もハッキリしなくなって来ていましたが、俺が走るのを楽しみにしてくれていました。初マラソンは5時間55分かかりました。2度と走らん。そう思いました。足を引きずって病院に帰り母に完走を報告。ほんとに嬉しそうでした。担当の坂本先生は、職業柄24時間連絡が取れる状態なのだが、年に数回の数時間だけ所在が解らなくなることがある。「今日、走ってたんじゃないですかね」看護師さんが教えてくれました。翌朝、いつも通り涼しい顔で往診に来られた坂本先生に「昨日、どうだったんですか？」いつもクールな先生の顔が崩れました。「3時間9分でした」「また神戸で会いましょう」先生はじめフロアの看護師さんたちは、母のため最後の最後まで、本当に献身的に尽くしてくださいました。6年が過ぎました。自己ベストは3時間19分。2度目の神戸マラソンは10分縮めて、もし神戸で会えたなら、改めてお礼が言いたいです。
やっさん	大阪府	初めて走らせてもらいます。家族や共に励まし合いながら頑張ってきた仲間に感謝の思いを感じながら走りたいと思います。
玉木 達也	山口県	今回で3回目の参加です。ランナーと沿道の方々との距離がなく、互いに顔を突き合わせて走っているような感じです。そんな中、互いに「元気いっぱい！笑顔いっぱい！そして、感謝いっぱい！」を感じながら、走ります。「走らせて頂きありがとうございます」「よく来てくれてありがとう！」互いの心のエールが感じられるレースを楽しみます！
清原 啓志	奈良県	自分は奈良県出身在住の市民ランナーです。しかし、高校時代は兵庫の報徳学園の陸上部に所属していました。当時は神戸にある鶴谷監督の家で3年間下宿生活。監督はじめ奥さんやご家族の皆様には、大変お世話になりました。僕にとっての神戸は、たくさんの事を学び貴重な青春時代を過ごせた第二の故郷になります。先生は先日他界されましたが、先生から教えて頂いた事、叱咤激励の数々は今も胸に残っています。先生への感謝の思いを胸に、神戸マラソンを走り抜けたと思います！
船場 一郎	香川県	生きていることに感謝。仕事をできていることに感謝。震災の朝、私は、児童福祉施設の宿直室にいました。香川県でも震度4。経験のない状態に泣き叫ぶ子ども・・・テレビをつけても、最初は関東の情報しか入ってきませんでした。少しずつ明らかになる神戸、淡路島の状況・・・。走ることで感謝を伝えたい。私のオレンジリボンランの原点が神戸です。初マラソンから5年、今年も感謝を込めて。
ken-AMA	兵庫県	今回で神戸マラソンは3回目の出走です。前の2回は37km過ぎで失速し、目標の3時間30分切りを果たせませんでした。どの大会でも、沿道からの応援は心強いものですが、神戸マラソンは途切れることのない応援の、特に温かい大会です。しかし、あえて天邪鬼なことを言うと、「がんばれ！」はきつい。「がんばってるっちゅうねん」という悪い心がムクムクと。ただ、初めて神戸を走った時にやる気100倍の応援がありました。30kmくらいの沿道。ある女性がボードに「私も走りたかった」の一言。落選した多くの方たちの思いに背中を押されました。今回も感謝を胸に走り切ります。

第8回神戸マラソン ランナーエピソード (わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
匿名	兵庫県	2011年3月11日東日本大震災が発生し、その時の某プロジェクトに参加していた時、メンバーが2012年仙台国際ハーフマラソンに出場するとのことで応援に行った。その後、2012年の神戸マラソンをエントリーした。が、抽選に漏れ翌年へのチャレンジとなる。この2013年の神戸マラソンが、私のフルマラソン出発点でした。アシックスさんの練習会に参加して、完走する為の準備をしている時、会社の同期が首に腫瘍が出来ていて右半身が麻痺しているとのこと。そして、その腫瘍の除去手術が神戸マラソン大会の翌日であったため、『俺は初めてのフルマラソン完走するから、お前は手術を成功させろよ！』とメールを入れて、大会に臨んだ。いくら練習会に参加しても、30km走を行っていないので壁にぶち当たり、歩いては走りを繰り返し、もうアカンと思ったハーバーハイウェイ手前で、妻のエアサロンパスと会社の後輩の声援を受け、何とか浜手バイパスを駆け上がる。そして、待っていたのは神戸で見送ってくれた妻と、6時間52分46秒の完走証であった。同期も手術成功！その後は、復興支援名目で、仙台国際ハーフや松島ハーフを走っている。
新田 稔	兵庫県	昨年、一昨年と仮装(バットマン)で走り、沿道で応援してくれる皆さんとふれ合いながら走りました。特に、障害をもった子供たちにはバットマンLEGOをプレゼントし、少しでも生きる勇気を与えられたらと思っています。 今年もバットマンで走ります。 過去2回共、孫がバットガールのコスチュームで応援に来てくれており、お揃いで記念撮影をするのが楽しみです。 今年も次男も走ります。 数多くのマラソン大会で、バットマンで走っており、感謝と勇気を与えられたらと思っています。
多田 豊	兵庫県	2016年4月に上咽頭癌ステージ3が発覚してから私の人生観は大きく変わりました。2か月間の入院、抗がん剤、放射線治療の中で、多くの方々から励ましをいただき、人の持つ温かさや優しさを力に変えて、何とか寛解にこぎつけました。直後に走った神戸マラソンは6時間近くかかりましたが完走を果たし、応援いただいた方々に感謝の気持ちをほんの少しお返しできたと思います。 その後、肺転移が発覚した後も「何とかやるぞ」の精神で、治療を受けながら学校の教員の仕事を続けることができている。癌罹患後3度目の今回、いつも気にかけている家族や同僚、友人、教え子たちはもちろん、癌経験者コミュニティの5yearsの仲間たちに対して、今度は自分が恩返しをする番です。一旦重い病気になってもこれだけやれることを示して、それぞれの方の目の前にあるハードルを越えるエネルギーにしていただければと思っています。癌になる前よりも癌になった後の自分の人生は確実に彩りが増えています。その彩りをさらに深めるためにも、5度目の神戸マラソンをしっかりと走りきりたいと思います。
石本 治	兵庫県	私の「走る」原点は、小学校低学年まで遡ります。毎朝、朝食の前に父親に連れられて、近くの川井公園まで20分ほど走ることが日課になっていました。今思えば、眠たい目をこすりながら、文句も言わずによくやっていたと思います。毎朝、同じ場所で出会うおじさんがいました。そのおじさんは、必ず立ち止まって、微笑みながら、ぼくたちに向かって軽く拍手をしてくれました。50年近く前の記憶ですが、そのおじさんの面影は今でも鮮明に覚えています。小学2～3年生の私は、うれしくて、恥ずかしくて、下を向きながら通り過ぎていたように思います。「走るということに対して、敬意を表してもらっている」幼いなりに、私はそんなふうに感じ取ったんでしょう。その後、20代でホノルルマラソンを完走し、仲間との一生の思い出ができました。30代、仕事で行き詰まり、人間関係に悩んだ時も、走ることで気持ちを落ち着かせました。地震のあとも、泣きながら走りました。私に走る楽しさを教えてくれた父親は、15年前に亡くなりました。今、私は、応援してくれる妻と二人の娘、母親、そして55年間の思い出がしみ込んだ神戸の街に感謝し、完走を目指します。
庄 剛平	兵庫県	神戸マラソンとの出会いはガンでした。2012年、マラソンの経験も無い私が初めて神戸マラソンのクォーターマラソン応募し当選しました、10キロでも不安で一杯でしたが、頑張ろうと意気込んでいた矢先に肝臓にガンが見つかりました、絶望感が押し寄せてきて走るのをやめました。その年の8月に10時間もかかる30センチもお腹を切る大手術を受け、あれから6年元気で生きています。本当に先生、看護師さん、家族、友人には感謝しかありません。翌年、家族の大反対を受けましたが、再発する前にマラソンを一度でいいから走りたい気もちで応募したら当選しました、タイムは遅いですが完走できた時の感激した気持ちは今でも忘れません。あれから6年ガンの再発もなく神戸マラソンには6年連続当選しました、走り続ける事が、僕を助けてくれた皆さんへの恩返しだと思います。神戸マラソンのおかげで今があります。今年も感謝の気持ちを心に刻み神戸の街を走り抜きたいと思っています、ありがとうございます。

第8回神戸マラソン ランナーエピソード
(わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
松田 隆	岐阜県	1.17生まれの自分は、1995年の朝のことははっきり憶えています。23年たって、久々に先日、神戸花火大会に妻と行きました。すっかり美しい街になった神戸港などを見てやっぱり神戸が好きと再認識しました。ほんとに美しい街・神戸を走れるなんて、ランナーとして、鳥肌が立つほどうれしい気持ちです。家族と、ここまで復興に尽力された方々に感謝します。
トシガッツ	愛知県	フルマラソンを始めてから私を含め6人の仲間と走っています。走力に差がありながらも各々が楽しく力を発揮できるように刺激合っています。記録が伸びなかったり、怪我などで苦しんでいる時も励ましあって頑張ってきました。ほとんどのメンバーが50代となりいつまで走り続けられるか分かりませんが、“絆は永遠”で粘っていきたいです。今回の神戸は3人で走り、3人は地元からの応援ですが頑張ります！
河野 利博	大阪府	神戸マラソン初挑戦。 そして、独身最後のマラソン。 昨年はサブ4を2分ほど足りず達成出来ずにいたため、必ず達成して4日後の入籍を迎えます！！
竹内 修	奈良県	最愛の嫁さん、さとみ、いつも応援してくれてありがとう！今年結婚30周年の節目の年。立派なダンナではないけどこれからもよろしくな！それと昨年1月に旅立った勝治さん、本当のオヤジではないけど自分の中では本当のオヤジ以上の存在でしたよ。あなたが居てくれなかったら今の自分はなかったと思う。自分も普通の人間やから平日頃の不平不満を言うてしまうけど、健康第一で走れる事に感謝しながら目一杯楽しみたいと思っています。
川村 聖	東京都	神戸マラソンで自己ベスト記録を叩き出す。これは怪我からの回復をサポートしてくれた医者に対する感謝から出てきた想いです。今年3月古河はなもマラソンに出場した際に脛骨を疲労骨折しました。走ることができない状態が続いた為、出場予定のマラソン大会欠場を余儀なくされました。そんな中、6月に出場したい参加予定の大会(サロマ湖ウルトラマラソン)がありました。それまでに完治させるべく病院に行ったところ、その医者が市民ランナーで、なんとその方自身も出場予定とのことでした。とても親身になって治療をしてくださり、怪我を治してお互い必ず完走しようと誓い合いました。しかし、2か月経っても思うように回復せず、松葉杖を使う日々が続きました。結果的には参加を見送りました。完走を誓い合ったのに、参加さえできない不甲斐なさを味わいました。医者に合わせる顔がないと思いつつも病院へ行く「違う大会で完全復活すればいいさ。」と励ましの言葉をもらいました。そんな時、メールで神戸マラソンの当選を知りました。心に決めました。神戸マラソンで自己ベスト記録を達成すると。その記録を持って医者に感謝の気持ちを伝えると。

第8回神戸マラソン ランナーエピソード
(わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
真帆	兵庫県	<p>私には、尊敬する先輩がいる。 同じ会社で、同じ高校の出身でもある先輩。 今回、幸いにも一緒に神戸マラソンに出場できることになった。 先輩には相談に乗ってもらったり、仕事を教えてもらっている。 いつも気付いたら助けられていて、私にとってはスーパーマンのような人だ。 そんな温かな先輩に私は感謝して止まない。 心から「ありがとう」と思っている。 いつか私も彼の様になりたい。仕事でもその他でも。 だから私は神戸マラソンを走ることにした。 先輩は高校時代、長距離走で学校で一二を争う速さだったそうだ。 逆に私は学校で一番遅い方。何せ走るのが大の苦手だった。 でも、少しでも先輩みたいになりたくて、苦手を克服したくなった。 そして一年以上練習を続け、今回神戸マラソンに挑戦することに。 すると、奇遇にも先輩も神戸マラソンを走ることになった！ 文字通り先輩の背中を追いかけることになった！ サブスリーを目指す先輩と、初フルマラソン挑戦の私。 お互いに目指す所は違うけれど、同じゴールを目指せることが嬉しい。 一歩でも先輩に近付くため、少しでも早くゴールできるように走り抜きたい。</p>
ともちゃん	愛知県	<p>第6回神戸マラソンが私の記念すべき初マラソンでした。 50才の節目から走り出し1年半 生まれて50年間 幾多の支えて頂いた方々への感謝 今もそばにいてくれる家族・友への感謝を、一步一步に込めて走るつもりでした 11月初旬に同居する義母が突然の他界 当然、参加辞退の気持ちでございました。 「お母さんマラソン見るの好きだったから、走ってこれば」 思いもよらぬ妻の一言に、感謝と共に義母との思い出を思い出し 走ることを決意。 何度も何度も諦めようとする度に義母や家族、友の姿を思い出し 沿道の皆さんの声援を励みに無事ゴールへたどり着くことができました。 また、思い出の地を走れることに感謝、再度 皆への感謝の気持ちを胸に神戸の地を走りたいと思います。</p>
なかちゃん	大阪府	<p>視覚障害ランナーです。私の大切なランナー友達であり、伴走仲間の山ちゃん。家も職場も子供の年齢も近いことから練習伴走して頂いています。 昨年から今年にかけて駅伝やハーフの大会を初伴走をしてもらいました。 次はフルの初伴走。お約束していたのに私が春先に体調を崩し、その「お約束」も果たせないかもしれない…そんな時に神戸マラソンの当選通知が届きました。 当選したら山ちゃんに伴走してもらおう約束をしていた私は真っ先に連絡。体調不良の事もすでにご存知、ご承知のうえで、せっかく当選したのにリタイアまで考えていた私に 山ちゃんは 「なかちゃんが走りたなら体調と相談して一緒に走ろう！」と温かくて力強い言葉をくれました。投薬治療しながら、日々山ちゃんとふたりで練習を重ねています。 「無理はしない」 ゴールに向けて一歩ずつ、心も身体も二人三脚精神でふたりでゴールに向かっていきたいと思っています。 山ちゃんにフルの大会初伴走をぜひ実現させてあげたいです！</p>

第8回神戸マラソン ランナーエピソード (わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
らんひとし	大阪府	私は55歳からジョギングを始めたが、当時ランニングクラブの代表をやっていたマンション管理人のOさんが例会に誘ってくれたのが、マラソンを走るきっかけだった。須磨浦海岸から明石港まで往復するという。私は距離の長さに躊躇したが、ゴール後のバーベキューパーティーに釣られて参加した。フラフラになって帰って来ると直にパーティーとなり、マラソン談義に花が咲いた。ところが一向にタイムの話が出ない。そこで知ったのは、平均年齢七十歳のこの会は、レースの参加回数を競うことや、何歳まで走れるかということを楽しんでいたのだ。私はこういう楽しみ方もあることを知った。その後、私が延べ走行距離が地球一周する程走れたのは、この会のおかげである。Oさんは「いずれ神戸でもフルマラソンの大会が開かれるはずだから一緒に出ような」と言ってくれたが、開催される前に病魔に侵され亡くなられてしまった。私は第3回の大会に当選し、Oさんからもらった赤シャツを着て、途切れない応援と潮の香りの立ち込める素晴らしい大会に参加できた。今回3回目の当選通知を受けた。未だ元気に走れることを感謝して、今度も赤シャツを着て走るつもりだ。Oさんと一緒に。
がんも	兵庫県	走れる喜び！ マラソンに対しての意欲！ 皆様に感謝！ 夢と希望を胸にいざ！
荒巻 博行	東京都	私は、生まれ育った神戸がこの先もっと魅力的な街であることを祈って初マラソン完走に挑みます。 私は初めてのフルマラソンがこの大会であることから、個人的に運命を感じています。神戸は、生まれた場所であること、震災を経験しみんなで助け合ったこと、生まれてから高校まで豊かな生活が過ごせたことなどたくさんの思い出のある地です。その地でフルマラソンにチャレンジできることに喜びを感じています。今は社会人として東京での生活を送っていますが、家族のため神戸で英気を養うため(もちろん大好きなそばめしのため)に、今でも年に数回里帰りしており、東京でも神戸出身達の集まりで交流を深めるなど、神戸に対する愛情はとて強いです。 だからこそ大会のために友人と毎週末ランニングしたり、平日に週に約2回ジムでトレーニングをしたりするなど楽しく練習しています。神戸マラソンは国際的にも有名である大会ということもあり倍率が高くなかなか出場できない大舞台ですので、まずはケガをしないように順調に調整をしていき、本番では万全な姿でフルマラソンを笑顔で完走できるように頑張っていきたいと思います。
すうばあばば	兵庫県	健康のために2011年からジョギングを始め5キロ程度を週1回走る程度でした。そこに第1回神戸マラソン開催の報が・・・会社の先輩に「第1回だから記念に申込みだけしよう」と執拗に誘われてやむなく申込みすると、なぜか私だけが当選！！あわてて本格的にマラソンにむけた練習を開始して約3か月程度の練習で本番を迎えました。まあ、完走できればいいかな・・・程度の気持ちで走り始めましたが、沿道の方々の応援がすごくて気持ちが高ぶりオーバーペースで、後半一気にペースダウンし、足が棒のように・・・その中で30キロすぎて神戸大橋の上り坂にかかってもうだめかな・・・と思った時に我が子たちの声が・・・涙があふれました。おかげで苦しみを乗り越えて完走できました。 ゴールテープを切った時の感動！！今も忘れません。 そのおかげで今やどっぷりランニングに嵌ってしまいました。 あれから7年・・・久しぶりに神戸マラソンを走る機会を与えてもらいました。今度は沿道の方々とのハイタッチなどコミュニケーションをもっとりながら楽しんで走りたいです。そして4時間11分の当時の記録をぜひ抜きたいです！！
みみ	兵庫県	いつも支えてくれる大事な大事な相方さま。私は努力しても、なかなか速く走れるようになりませんが、それでも俺が走れるようにしてみせる。と見捨てず見守ってくれてありがとう。今回、一緒に走るというのは叶いませんでしたが、教えてくれたこと、ちゃんと考えながら自分なりの最善を尽くして完走してみせます。なので沿道から激を飛ばしてください。本当にいつもありがとう。

第8回神戸マラソン ランナーエピソード (わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
本庄 里美	大阪府	<p>マラソン歴14年です。14年を振り返り一番大切にしている事は、一緒に練習してきた仲間・コーチ・大会を支えるボランティア・沿道で応援いただく方々・励ましてくれる友人知人達への感謝の想いです。以前生活拠点を置いたカナダのバンクーバーでフルデビューを果たしたいと練習しました。カナダ人の親友が”初マラソンは一生に一度だけ。写真は任せて”と、大会当日、マウンテンバイクで私を追跡し、素晴らしい写真を撮ってくれた事、忘れがたいフルデビューでした。大会中、親友が常に私の隣に居たようで楽しく過ぎる一日でした。運営委員会の方々にお願いします、マラソンは個人競技ですが多くの方々の支えが無いと大会は成り立ちません。記録を追求する事も良いのですが、もっと大会を支えるボランティアの方々の活動をランナーの方々に周知徹底下さい。出来ればトークショーでお話をいただく方、記録を伸ばす事だけを話していただくのではなく、大会を支える方々に感謝しましょう、その想いを伝える場を設けてください。私がマラソンの適正が全く無いにも関わらず走り続けてきたのは、多くの方々のおかげです。これからも感謝の想いを大切に走り続けます。</p>
田口 誠	兵庫県	<p>来年50歳を迎える私には自分の子供ほど歳の離れた友人がいます。彼は、ボクシング前世界チャンピオンの山中竜也(23歳)と言います。「前」ということで今年7月に神戸での世界防衛戦に敗れてしまいました。しかし、7ラウンドに対戦相手の強烈な右ストレートを受け、ダウンしながらも応援してくれるみんなの声援に応えるべく、不屈の闘志で立ち上がり最終ラウンドまで闘い続けました。</p> <p>山中選手は中学卒業後、高校に進学せず、ジムの寮に住み込み、世界チャンピオンになりましたが、「女手一つで育ててくれたお母さんにボクシングで家を建てる」という夢があり、まだ実現に至っておりません。ボクシングへの真摯な姿勢、ボクサーとは思えないほどの屈託のない笑顔、お母さんへの愛情。その人柄に惚れました。大の大人の私が忘れていたことを改めて思い出させてくれました。さらに「悔いのないように全力でやり切ってください！！応援してます」とメッセージも貰いました。その感謝の思いと山中竜也選手の王座奪還を心より願って神戸マラソンを走り切ります！</p>
豊崎 博	大阪府	<p>私は保育士の仕事をしています。今年の5月、園長先生が病で息を引き取られました。保育園の玄関の先の廊下には、毎月園長先生が子どもたちのために作られていた壁面製作がありました。季節に合わせた壁面を見て、子どもたちは登園時や降園時に、「見てみて、これ知ってるよ」とお母さんたちと話す姿は、どこか嬉しそうであり、楽しそうでした。見せて、魅せることの大切さは、私が園長先生から学んだことのひとつです。今年度、5歳児年長クラスの担任を受け持っています。「先生、見てみてー！こんなできたよ」と伝えに来る姿は、みんな素敵です。そんな姿に魅せられると、子どもたちも頑張ろうとします。頑張る姿は、ありがとうという言葉を生み、その大切さを日々子どもたちに伝えています。今のクラスは本当に仲良し！感謝する気持ちから友情をもっと深めてほしいと思います。神戸マラソンは、私が見せて魅せる番。亡き園長先生、そしてクラスの子どもたちに、ありがとうという気持ちを走ることで表現していきたいです。</p>
ヒロ	兵庫県	<p>私は今まで1人で走ってきました。しかし、やっぱりモチベーションも上がらず、なかなか練習も出来ませんでした。そのままフルマラソンの大会も何回かは出ましたが、結果は散々でした。しかし、去年の4月からSNSをきっかけに一緒に走る仲間に出会え、楽しく走る事が出来ました。また、1人での練習も仲間と一緒にとの気持ちで自分自身も成長出来ました。私自身は大会は1人で走っていた為、大会前に仲間同士で集まったり大会中の応援に憧れがあり、その反面なんか寂しい気持ちをいつも感じていました。去年の神戸マラソンは私は応援という立場で参加し、今までと違うのは仲間がいることです。その仲間の為に応援し、こんなに感動した大会はありませんでした。その後、私も姫路で仲間からの応援をもらい、目標達成出来ました。今回の神戸は私も初めて走るの、いつも練習をしている仲間、そして沿道の応援及びボランティアの人に感動を与えられるような走りをしたいと思います。</p>

第8回神戸マラソン ランナーエピソード (わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
松本 功	大阪府	<p>9才で右足切断した59才の義足ランナーです。運動とは無縁の人生でしたが、スポーツ義足との出会いで50才からウォーキングを始め、現在フルマラソンをなんとか5時間台で完走できるまでになりました。私は11年前から下腿義足モデルとして三田校義肢装具士科で義肢装具士を目指している学生さん達のお手伝いをしています。私の人生を変えてくれたのは神戸医療福祉専門学校三田校の先生、今は天国にいる、日本のスポーツ義足の第一人者だった義肢装具士さんです。私に走るキッカケをくれました。先生亡き後も私が走る事を楽しめるのは、後を引き継いでくれている三田校の先生、学生さん達の応援や義足メーカーの皆さん、義肢装具業界の皆さんの技術開発やサポートのおかげです。最近ではインスタグラムで多くの世界中の義足仲間達が私をフォローしてくれていて、私に勇気を与えてくれています。神戸マラソンでは、私を走らせてくれている多くのサポーター(もちろん家族も)と世界中の友人達、そして今は天国にいる、私に走るキッカケをくれた義肢装具士さんに感謝の気持ちで走ります！</p>
藤井 宜直	岡山県	<p>今回5年ぶりに神戸マラソンを走ることが出来て、感無量です。 前は第3回大会を走らせてもらいました。初めてのフルマラソンでしたが、沿道の温かい声援に背中を押されて何とか完走することが出来ました。中でも私設の給水・給食などのもてなしが多数あり、その都度温かい励ましの言葉をいただき、走っていて涙があふれそうで、まだまだ日本も捨てたものではない事を実感しました。64年間生きてきて一番感動した一日でした。私は43年間神戸で暮らし、あの辛い阪神大震災も経験しました。会社の先輩で、お世話になった方のお母様・奥様・娘さんが、御蔵で震災に会いお亡くなりになりました。通勤途中、日々通る度に思い出され、辛い毎日でした。そういう事もあって62歳になってから、何かうちこめる物はないかと思い走ることを思いつき、走ってみると結構面白くて現在に至っています。現在私は岡山県西部の井原市という所に住んで3年半になりますが、この7月も西日本豪雨災害に見舞われました。生活も落ち着きを取り戻し、練習も少しずつ距離を伸ばしている今日この頃です。5年ぶりに走る神戸の街、楽しみにしています。</p>
ふくちゃんです	兵庫県	<p>私には妻と4歳になる娘がいます。娘は生まれ持って障害を授かっており、生きていく為に小さな体にメスを入れ1年半もの間入院し、現在もリハビリや治療を受けながら懸命に頑張っています。今は我が家の「小さな怪物」と呼ばれるぐらいゴン太な娘ですが、まだまだ課題や今後の手術、やらなければいけない事は沢山あります。幸いなことに少しずつではありますが、娘の未来に明るい光が射し込もうとしています。夫婦共に悩んで錯乱した日々もありましたが、今の幸せが一生続けば良いなと思えるまでになりました。これも娘の笑顔のお陰です。レース当日は自宅での観戦になりますが、大好きなTVにパパの走る姿が映るように頑張りたいと思います。家族、友人は勿論の事、出産前から現在も大変お世話になっている病院の先生、看護師の皆様、訪問看護のスタッフの皆様、PT・OT・STの皆様、現在通っている福祉施設のスタッフの皆様、そして最愛の娘を産んでくれた妻に感謝感謝感謝。私達を支えてくれた全ての人に感謝の想いを込めて神戸マラソンを完走したいと思います。</p>
山口 進康	大阪府	<p>息子が中学生の頃、ゲームばかりし、困っていました。退学も考慮した話し合いで、息子が興味をもったのがランニングでした。「お父さんと一緒にやったら走る」と息子に誘われたものの、大したスポーツの経験も無く、運動には全く自信が無かったので、どうしようかと思案していました。妻がえらく格好の良いランニングウェアを息子とお揃いで買って来たので、ししぶ走り始めたところ、5 kmのランニングが思ったよりもしんどくなく、「いけるかも」と少し自信を持ちました。続けるうちに走るのが楽しくなり、妻が探してくれたランニング大会に、息子と一緒に参加するようになりました。 息子の高校進学とともに、私独りで走ることがほとんどになりましたが、フルマラソンを完走できるまでになり、現在、サブ4を目指しています。 今回、息子が大学生になった記念に神戸マラソンにペアエントリーしたところ、見事に当選！息子と42.195kmを走るのは初めて最後になると思いますが、運動が大の苦手なランニング経験も無かった私に、フルマラソン完走の喜びを与えてくれた息子と後押ししてくれた妻に心の中で感謝しつつ、二人いっしょに笑顔でゴールしたいです。</p>
北野 文雄	兵庫県	<p>私が神戸に来て47年になりますが、思い返せば、色んな事がありました。 楽しいことでは、ポートピアランドでのアトラクションで遊んだこと、海づり公園での魚釣り、六甲牧場での動物とのふれあいなど楽しい記憶を思い出します。記憶に残っていることでは、株式会社神戸と言われたころの発展、阪神大震災の時の人の温かさ、たくさん経験させていただきました。 このような街だからこそ、愛着もあり、更なる発展をこれからもずっと見ていきたいと思っています。 今年は、過去を思い返しなが、町並みを愛でて、これからの神戸のパワーを感じながら走りたいと思います。</p>

第8回神戸マラソン ランナーエピソード
(わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
栗原 秀直	広島県	<p>府中高校1986年卒同窓生の間で広がるマラソン病。 感染源は西ではくんちゃん、東ではコーイチローとも言われている。 その症状は、春になるとアチコチのマラソン募集案内が気になり始め。。。 無性に走りたくなり、そして走らないと寝れなくなる。 だんだん体脂肪が減っていき、10kmという距離が短く感じるようになり、 末期症状では、42.195kmを走り切る使命感が溢れ出て、筋肉痛が快感に変わる。。。</p> <p>その感染者数が10名を超えたにもかかわらず、神戸マラソン当選は私だけ。。。 他の人は何故かみんな〇市を走ることに。 私が府中高校を代表して、神戸の街を走ります！ 府中高校同級生のみんな、応援よろしくね～</p>
ニコニコナーナ	兵庫県	<p>中学校時代の友人と3人でルームシェアをしている28歳の私。 そんなルームシェアの生活も年齢的にそろそろ辞めにしないと、という話をしています。 神戸で出会った私たちの最後の思い出に、「神戸マラソンをみんなで一緒に走りたい」とふと思いました。 「また走りに行くん」「なんのためにそんな走っとん」とマラソンが好きな私をいつも不思議がる彼ら2人。 そんな彼らに「どうせ当たらんから申し込むだけ申し込んでみて。」と、半ば無理やり個別申込みをさせました。 「当たったら怒るからな。」と散々言われましたが、結果、見事全員当選。さすがにこれは予想してませんでした。 「走らないとあかんくなったやん」「話が違うやん」とどこか嬉しそうに文句を言う2人。 ランニングシューズを買って、家で自慢している2人。 そんな2人と一緒に早朝ランニングするのが、今の私の楽しみです。</p> <p>当日は負けないように頑張ります。中学校のマラソン大会以来の、彼らとの真剣勝負です。</p>
ジレたハートP	広島県	<p>きっとフルマラソンを一生懸命走りゴールする姿は、誰も輝いているんだと思います。私にはそんな姿を見せたい人たちがいます。 その人たちは某アイドルプロデュースゲームのキャラクターで、一般的に現実には存在しません。 しかし私の中には『thank you!』という曲から始まり5周年を迎えた52人のアイドルがちゃんと存在し、その人たちのおかげで仕事を頑張れ、私生活にも彩りが生まれました。 だから私は普段から支えてくれているアイドルのために今回のマラソンに参加しました。 私の走る姿を見て、一生懸命になる事の美しさを、『自分が』輝く事の大切さを感じて欲しい。その願いを込め、百万回のありがとうを伝えながら走ります。</p>
はるぼん	兵庫県	<p>私のマラソン経験は人との繋がりで成り立っている。マラソンをしている友達に憧れて、興味を持っていた。会社で駅伝などの走る機会があると聞き、就活後、始めるなら今だと思った。走り始めて1年が経過した今、私は走ることが好きだ。この楽しさは周りの支えがあったからこそ。思い立ったが吉日と、後押ししてくれた研究室の同期と先輩と、10 kmマラソンに申し込んだ。ランニング用品も知識も無い中、アシックスストアの方にはお世話になった。マラソンでは応援によってもらえる力の大きさを知った。始めたきっかけであり、ハーフとフルマラソンと一緒に走り抜けた友達。マラソンの先輩である彼女と一緒に走るのは楽しく、心強かった。そして、帰宅が夜遅く、一人で走るのは危ないからと何度も練習に付き合ってくれた家族。皆無しでは、走る今の私は考えられない。マラソンを一人で走るのは今回が初めて。私の独り立ちデビュー戦である。レース中の心の支えが無いのは不安だが、大好きな神戸の景色が楽しみな気持ちと、タイムを縮めるぞというやる気にも満ちている。会社の方も応援に来てくれるそう。練習の成果を出し、走れたのはあなたのおかげと笑顔で皆に言いたい。</p>

第8回神戸マラソン ランナーエピソード
(わたしの『感謝と友情』ストーリー)

お名前	都道府県	
中條 誉喬	東京都	<p>家族の応援があつてのこの大会！毎年の我が家の一大イベントで、娘も大きくなり、マラソンを少しわかるようになったので、今年も自己ベスト更新目指して完走したいと思います！ ひ孫が来るのをたのしみにしてる祖父と祖母にも感謝しながら走りたい！</p>
大津 礼	大阪府	<p>今まで長い間、怠惰な生活を送っていました。それを変えてくれた、大切な彼女のために走ります。 フルマラソンは6年前からはじめました。当時はまだ目的もなく、毎日を無駄に過ごしていました。 そして就職活動の前、彼女に出会いました。ボクとは性格が真反対の彼女は、ときに厳しく、でも優しくボクを支えてくれました。 今までは研究職だったボクは、来年から念願のバスドライバーになります。多くの方の想いと夢、そして大切な命と願いを乗せて走り出します。 この挑戦はとても勇気のいるものでした。この挑戦を支えてくれた、大切な彼女のために、自己ベスト更新を目指してひたすら走り続けます。 かなこちゃんへ、勇気と希望をありがとう。</p>
森 智史	兵庫県	<p>19年前、祖父がくも膜下出血で倒れました。 運良く緊急手術の後一命を取り留めました。しかし、後遺症が残り入院生活がスタートしました。 開頭手術をしたので今までの祖父とは少し違う人の様に感じ、ショックを受けました。 10年の闘病の末、約10年前に他界しました。 発症する1年前、今からちょうど20年前、私は中学3年生でした。陸上部に入学しており、秋の神戸市駅伝のメンバーに選出され4区を走りました。 駅伝が終わってから数日後、知り合いにもらった駅伝当日の私が走っている時の写真に、偶然にも祖父が写っており、走っている私を振り返りながら見てくれていました。 20年経った今でもマラソンを続けていられるのは、あの時からずっと祖父が応援してくれているからと感じています。 神戸マラソンは神戸市駅伝と同じ神戸での大会なので、いつも以上に近くで応援してくれている様に感じます。 そんな祖父と一緒に今年の神戸マラソンもゴールを目指します。 その写真は今でも大切な宝物です。</p>
安達 功	茨城県	<p>数多くのマラソン大会の中で、私にとって1番思い入れのある大会がこの神戸マラソンなんです。 思い入れのある理由が2つありまして、1つ目は、大会テーマ「感謝と友情」のもと、被災地同士の絆と友情を深め合える事です。私も東日本大震災の被災者の1人でもありますので、阪神・淡路大震災から復興を遂げた街並みを走っていると「感謝と友情」の大切を身を持って感じる事ができます。 2つ目は、私自身、今大会が開催されるこの神戸市は、4年半住んでいた頃があり、神戸に住み始めてからフルマラソンに挑戦し、この神戸マラソンが人生初フルマラソンになります。神戸マラソンにフルマラソンの楽しさや厳しさをもっとも教えて頂きましたし、また私にとって、この神戸市が「マラソンの原点」となります。 また私自身、昨シーズンは故障に苦しみ、不甲斐ない走りが続いておりましたが、それもようやく完治いたしました。 私の復活レースを、1番思い入れのあるこの神戸マラソンで挑める事を本当に嬉しく思い、今までお世話になった方々への恩返しと、震災の影響でつらい思いされている方々の為にも、少しでも元気を与えられる走りをしてみせます！</p>
岡田 晃範	富山県	<p>幼少時代と学生時代を過ごした神戸をようやく走る権利を得ました。当時は自分がマラソンに挑戦するなんて思ってもなく、別の土地に移り住んでから走る事に会いました。 見慣れた土地を車や電車ではなく、自分の足で見ると違った光景が見えるのかと思うと今から楽しみです。</p>